

重点目標一覧表

担当部局名	生活環境部
-------	-------

【平成26年度重点目標】

【平成27年度重点目標】

重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成	重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成	
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	
1	<p>資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元住民との合意形成への取組</p> <p>(1)意見交換会の開催、先進地視察参加へ向けた関係団体への申し入れ (2)意見交換会等による地域要望を踏まえた地域振興策の検討</p> <p>し尿前処理下水道放流施設の整備検討</p> <p>(1)建設に向けた地元住民との合意形成 (2)技術的検討(し尿等の下水道投入方式及び建設候補地の選定)</p>	<p>(1)第1回意見交換会と先進地視察の実施について地元8団体に申し入れを行う。(4～5月) 第2回意見交換会開催の申し入れを行う。 (2)広域連合と連携し、建設対策連絡会との第1回意見交換会を実施(8月28日) (1)地元自治会役員を対象とした説明会を実施(3月15日) (2)投入方式及び建設候補地の選定を行う。</p>	<p>資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成</p> <p>(1)第2回以降の意見交換会の開催、住民説明会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策案の提案</p> <p>し尿前処理下水道放流施設建設に向けた地元自治会との合意形成</p> <p>(1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施</p>	<p>(1)地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2)地元自治会等に対し地域振興策を提案し地元の意向・要望を把握する。</p> <p>(1)(2)施設整備に向けた地元自治会との合意形成に向けた取組の推進</p>
2	<p>資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進</p> <p>生ごみの減量化</p> <p>(1)乾燥生ごみ堆肥化の実証実験、ポイント制度の検討 (2)通風乾燥型生ごみ処理機のモニター調査を実施 (3)ごみ減量化機器等の普及促進 紙類の資源化の推進 雑がみ回収袋の配布、雑がみ回収の促進 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 可燃ごみ量の削減 対前年度比 525t(1.5%)</p>	<p>(1)「交換ポイント事業(やさいまる)」JAと協議、H27年度実施決定。 (2)モニター調査実施(9月～2月、市民モニター60人) (3)ごみ減量化機器等補助制度の要綱改正、制度拡充 回収袋を全自治会へ配布(1世帯4枚)説明会154回 参加者5,280人 雑がみ227t回収 可燃ごみ処理量 H25年度比 377t(1.08%) ごみ減量アドバイザー、エコハウスによる啓発・情報発信 古着20t・剪定枝木680t回収、広報4回、環境うえだ3回</p>	<p>資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進</p> <p>ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量化推進施策の実施</p> <p>生ごみの減量化</p> <p>(1)「やさいまる」事業と乾燥生ごみの堆肥化実証実験の実施 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施に向けての検討 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「ごみ減量・再資源化キャッチフレーズ」の活用による情報提供・啓発</p>	<p>減量化目標33,712t達成のためのごみ減量PR等の実施</p> <p>(1)通年、ポイント交換数:延べ1,000回 (2)通年、補助機器数:380台、 基材数:1,400個 (3)モデル事業の検討 モデル地区4箇所(処理機4台) 対前年度比 910t(2.63%)</p>
3	<p>再生可能エネルギーの利活用と地球温暖化防止対策の推進</p> <p>再生可能エネルギー利活用の推進 小学校等の屋根等の貸付先の選定、市民主体の事業へ支援 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施 全市一斉アルチリ駆除、レジ袋削減・マイバック持参運動、不法投棄防止パト 河川一斉パト、環境放射線測定 自然エネルギー・省エネルギーの普及</p> <p>第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画の推進</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>太陽光発電上田市所有施設屋根等貸付事業 5施設 自然エネルギー-上小ネット、上田環境市民会議活動参加 全市一斉アルチリ駆除6月実施(4,062名 3,772kg) マイバック調査(3回61.6%) 不法投棄パト1,249回 河川パト5・10月実施 環境放射線測定延べ92回実施 太陽光発電システム423件、太陽熱高度利用システム 7件 雨水貯留施設25件 防犯灯新設190灯・交換3,044灯 夏の節電対策実施(7月～) 電力使用量H22年度比 26.0%削減。冬の節電対策実施(12月～)</p>	<p>犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進</p> <p>特殊詐欺や悪質商法などの被害防止対策と消費生活センターの機能強化 消費生活センター機能強化、出前講座、研修会・講演会、チラシ等による啓発 防犯意識の高揚と被害防止の推進 自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施</p> <p>子供と高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進</p> <p>シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上</p>	<p>相談件数 年200件(H26年度123件) 出前講座 年12回、講演会参加者100人以上 地域安全運動 年4回実施 駅前パト27回延べ540人、青パト210回、 千本桜まつり及び夏祭りパト延べ630人 交通安全教室100回以上実施 夜光反射材の配布3,000人以上 シートベルト99%、チャイルドシート90%以上</p>
4	<p>犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進</p> <p>県、警察及び各種団体と連携・協力し、悪質商法や特殊詐欺などの消費者被害防止対策を実施、消費生活相談体制の充実 防犯意識の高揚と地域における安全活動・暴力団排除の推進 駅前パトロール、小中学校下校時の青パト、夏祭り等における防犯パトロールの実施</p> <p>子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進 シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上 シートベルト着用率97%以上、チャイルドシート着用率90%</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>警察等と連携した特殊詐欺被害防止などの各種啓発活動、上田市消費生活センター新設 防犯指導員研修6回、自治会等への防犯講習会14回 駅前パト30回実施(延べ715人参加)、青パト215回 (延べ440人)、千本桜まつりパト(延べ259人) 夏祭りパト2回実施(延べ360人参加) 幼児・児童対象交通安全教室112回 出前講座6回実施 シートベルト着用率98.5%、チャイルドシート着用率87.5%</p>	<p>地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全</p> <p>再生可能エネルギー利活用の推進</p> <p>(1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進 省エネルギーの推進</p> <p>(1)防犯灯のLED化 (2)第三次エコオフィスうえだに基づいた温暖化防止対策の推進 (3)緑のカーテン普及 (4)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施</p> <p>(1)全市一斉アルチリ駆除 (2)レジ袋削減・マイバック持参運動 (3)不法投棄パト (4)河川一斉パト (5)環境放射線測定</p>	<p>(1)太陽光348件、太陽熱18件補助 (2)三中及び四中屋内運動場、本原小管理棟 についてH28年度の屋根貸しを検討 (1)既設防犯灯のLED化率100% 交換3,116灯 (2)夏・冬の節電対策実施 (3)緑のカーテン150件以上 (4)会議等参加 (1)アルチリ駆除 6月 (2)マイバック持参率62%以上 (3)不法投棄パト1,250回以上 (4)河川一斉 パト2回 (5)環境放射線測定 91回</p>
5	<p>市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上</p> <p>市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討</p> <p>住宅使用料の収納率の向上</p> <p>(1)現年度分収納率 95%以上(2)滞納繰越分収納率 前年度実績10.08%以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1)下水道接続事業等3事業を実施 (2)耐震化対策の方針素案の検討 (1)3月末収納率 現年度納期到来分 95.5% (2)3月末収納率 滞納繰越分 12.09% 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、 明渡請求訴訟の勝訴</p>	<p>市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上</p> <p>市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討</p> <p>(1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)耐震化に向けた課題整理 住宅使用料の収納率の向上</p> <p>(1)現年度分収納率 95%以上 (2)滞納繰越分収納率 前年度実績12.09%以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組</p>	<p>(1)中丸子団地(60戸)[再掲:丸子地域自治会] (2)課題の整理と手法の検討 (1)95%以上 (2)前年度実績12.09%以上 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、 法的措置を視野に入れた取組</p>

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
<p>・可燃ごみの減量については、減量となった要因を分析し、引き続き効果的な施策を講じて進めること。 ・悪質商法・特殊詐欺被害防止については、県と連携して効果的に実施すること。 ・市営住宅の整備課題については、様々な手法も検討しながら解決に取り組むこと。 ・資源循環型施設については、広域連合と連携し早期合意形成に向けて鋭意取り組むこと。</p>	<p>・資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成、ごみ減量化については引き続き誠意取り組み、職員個人もごみ減量化の意識を心がける取り組みをすること。 ・「やさいまる」事業、大型生ごみ処理機の普及は一日も早く稼働できるように努力すること。 ・防犯協会、交通安全協会の一本化に向けたサポートをすること。 ・住宅使用料の収納率向上は、課題はあるが引き続き取り組むこと。 ・市営住宅の整備方針は課題と手法をよく検討すること。</p>